

ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型)

米ドルコース

日本円コース

通貨αコース

運用報告書 (全体版)

第107期 (決算日 2023年11月20日)

第108期 (決算日 2023年12月20日)

第109期 (決算日 2024年1月22日)

第110期 (決算日 2024年2月20日)

第111期 (決算日 2024年3月21日)

第112期 (決算日 2024年4月22日)

(作成対象期間 2023年10月21日～2024年4月22日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	2014年10月21日～2024年10月18日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	米ドルコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (ノンヘッジクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	日本円コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (円ヘッジクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (通貨αクラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP (マスター・リミテッド・パートナーシップ) 等へ投資し、信託財産の成長をめざしております (通貨αコースでは、通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保もめざしております)。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5643>

<5644>

<5645>

米ドルコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
83期末(2021年11月22日)	3,718	10	△ 6.8	6,922	△ 8.3	—	97.4	1,336
84期末(2021年12月20日)	3,518	10	△ 5.1	6,532	△ 5.6	—	98.0	1,240
85期末(2022年1月20日)	3,904	10	11.3	7,565	15.8	—	97.4	1,358
86期末(2022年2月21日)	4,010	10	3.0	7,830	3.5	—	98.1	1,347
87期末(2022年3月22日)	4,296	10	7.4	8,331	6.4	—	98.9	1,438
88期末(2022年4月20日)	5,072	10	18.3	9,795	17.6	—	95.2	1,708
89期末(2022年5月20日)	4,707	10	△ 7.0	9,237	△ 5.7	—	97.8	1,527
90期末(2022年6月20日)	4,458	10	△ 5.1	8,826	△ 4.5	—	97.7	1,306
91期末(2022年7月20日)	4,863	10	9.3	9,710	10.0	—	98.8	1,415
92期末(2022年8月22日)	5,327	10	9.7	10,704	10.2	—	97.3	1,561
93期末(2022年9月20日)	5,412	10	1.8	11,119	3.9	—	98.2	1,577
94期末(2022年10月20日)	5,565	10	3.0	11,616	4.5	—	98.0	1,612
95期末(2022年11月21日)	5,465	10	△ 1.6	11,417	△ 1.7	—	98.0	1,545
96期末(2022年12月20日)	5,016	10	△ 8.0	10,304	△ 9.7	—	97.9	1,371
97期末(2023年1月20日)	5,005	10	△ 0.0	10,609	3.0	—	97.9	1,357
98期末(2023年2月20日)	5,143	10	3.0	11,322	6.7	—	98.5	1,390
99期末(2023年3月20日)	4,695	10	△ 8.5	10,482	△ 7.4	—	98.6	1,233
100期末(2023年4月20日)	5,006	10	6.8	11,194	6.8	—	98.7	1,302
101期末(2023年5月22日)	5,053	10	1.1	11,772	5.2	—	98.3	1,309
102期末(2023年6月20日)	5,192	10	2.9	12,312	4.6	—	98.1	1,324
103期末(2023年7月20日)	5,336	10	3.0	12,480	1.4	—	98.8	1,356
104期末(2023年8月21日)	5,646	10	6.0	13,279	6.4	—	98.9	1,424
105期末(2023年9月20日)	5,825	10	3.3	13,962	5.1	—	98.5	1,449
106期末(2023年10月20日)	5,990	10	3.0	14,556	4.3	—	98.3	1,417
107期末(2023年11月20日)	5,973	10	△ 0.1	14,886	2.3	—	97.8	1,387
108期末(2023年12月20日)	5,773	10	△ 3.2	14,386	△ 3.4	—	98.4	1,297
109期末(2024年1月22日)	5,843	10	1.4	14,758	2.6	—	98.2	1,256
110期末(2024年2月20日)	6,217	10	6.6	16,088	9.0	—	98.1	1,327
111期末(2024年3月21日)	6,573	10	5.9	17,078	6.2	0.0	98.1	1,325
112期末(2024年4月22日)	6,683	10	1.8	17,367	1.7	0.0	98.8	1,325

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数（配当込み、円換算）は、Alerian MLP Total Return Index（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Alerian MLP Total Return Index（米ドルベース）はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerian が算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

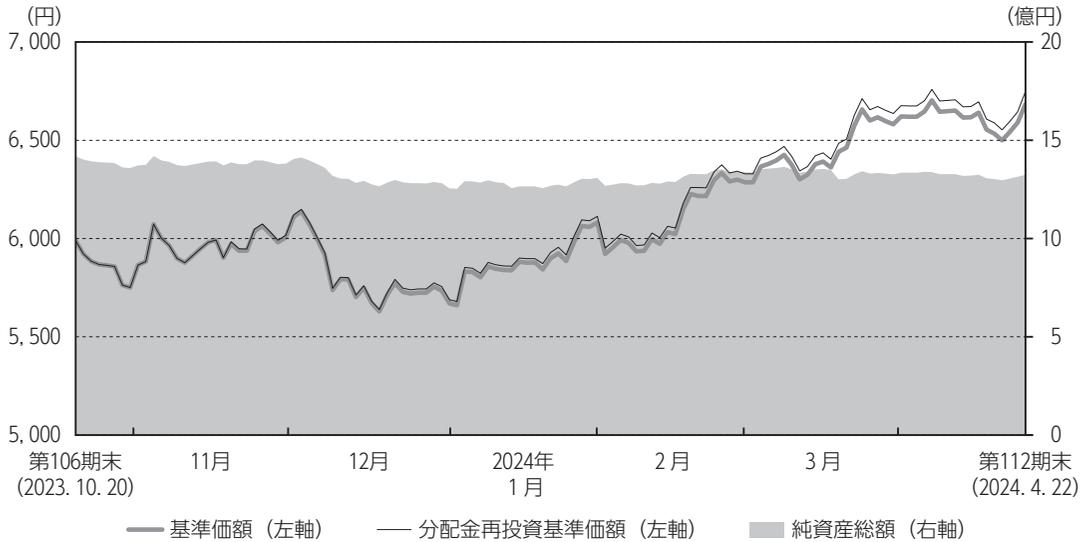
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第107期首：5,990円

第112期末：6,683円（既払分配金60円）

騰落率：12.7%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

MLP（※）市況が上昇したことに加え、米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第107期	(期首)2023年10月20日	5,990	—	14,556	—	—	98.3
	10月末	5,751	△ 4.0	14,183	△ 2.6	—	97.0
	(期末)2023年11月20日	5,983	△ 0.1	14,886	2.3	—	97.8
第108期	(期首)2023年11月20日	5,973	—	14,886	—	—	97.8
	11月末	6,006	0.6	14,784	△ 0.7	—	98.9
	(期末)2023年12月20日	5,783	△ 3.2	14,386	△ 3.4	—	98.4
第109期	(期首)2023年12月20日	5,773	—	14,386	—	—	98.4
	12月末	5,669	△ 1.8	14,169	△ 1.5	—	97.9
	(期末)2024年1月22日	5,853	1.4	14,758	2.6	—	98.2
第110期	(期首)2024年1月22日	5,843	—	14,758	—	—	98.2
	1月末	6,082	4.1	15,569	5.5	—	98.3
	(期末)2024年2月20日	6,227	6.6	16,088	9.0	—	98.1
第111期	(期首)2024年2月20日	6,217	—	16,088	—	—	98.1
	2月末	6,286	1.1	16,291	1.3	—	98.6
	(期末)2024年3月21日	6,583	5.9	17,078	6.2	0.0	98.1
第112期	(期首)2024年3月21日	6,573	—	17,078	—	0.0	98.1
	3月末	6,621	0.7	17,211	0.8	0.0	98.2
	(期末)2024年4月22日	6,693	1.8	17,367	1.7	0.0	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 10. 21 ~ 2024. 4. 22)

MLP市況MLP市況は上昇しました。

MLP市場は、当作成期首より、パレスチナ情勢の不安定化を受けて投資家心理が悪化した一方、米国のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、FRB（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、底堅い展開が続きました。2024年1月以降は、インフレ率の鈍化傾向が継続したことや製造業の景況感が改善したこと、堅調な原油価格などが好感され、大きく上昇して当作成期末を迎えました。

為替相場米ドル円為替相場は上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を受けて、2023年末にかけて下落（円高）しました。しかし2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じ、2月に入っても、日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどから、円安米ドル高基調となりました。当作成期末にかけても、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調が継続しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中事業を中心に行う株式（以下、川中関連株式）を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 10. 21 ~ 2024. 4. 22)

■当ファンド

当ファンドは、「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせたポートフォリオでの運用を継続しました。

株式部分の運用においては、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、銘柄の選定を行いました。

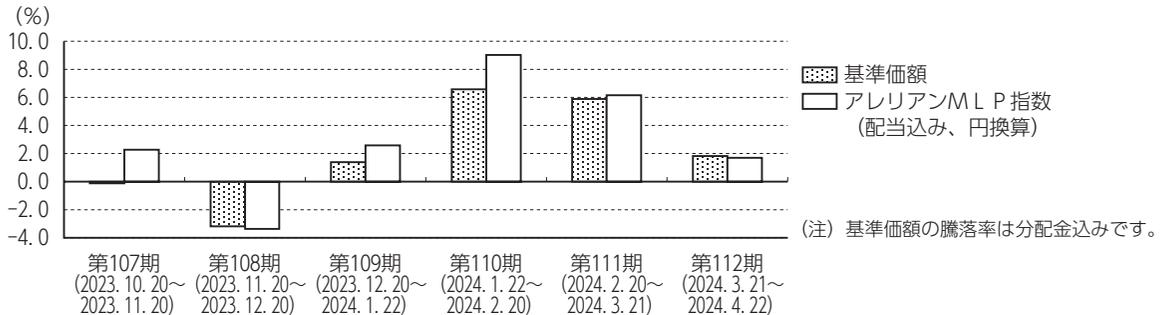
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2023年10月21日 ～2023年11月20日	2023年11月21日 ～2023年12月20日	2023年12月21日 ～2024年1月22日	2024年1月23日 ～2024年2月20日	2024年2月21日 ～2024年3月21日	2024年3月22日 ～2024年4月22日
当期分配金(税込み) (円)	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率 (%)	0.17	0.17	0.17	0.16	0.15	0.15
当期の収益 (円)	—	0	5	6	6	6
当期の収益以外 (円)	10	9	4	3	3	4
翌期繰越分配対象額 (円)	311	301	297	293	290	286

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円	✓ 0.13円	✓ 5.99円	✓ 6.32円	✓ 6.39円	✓ 5.99円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	302.38	✓ 302.39	✓ 301.37	✓ 297.36	✓ 293.68	✓ 290.08
(d) 分配準備積立金	✓ 18.85	✓ 8.84	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	321.23	311.37	307.36	303.68	300.08	296.08
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	311.23	301.37	297.36	293.68	290.08	286.08

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第107期～第112期 (2023. 10. 21～2024. 4. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	40円	0.652%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,096円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0.222)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(25)	(0.417)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	40	0.656	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

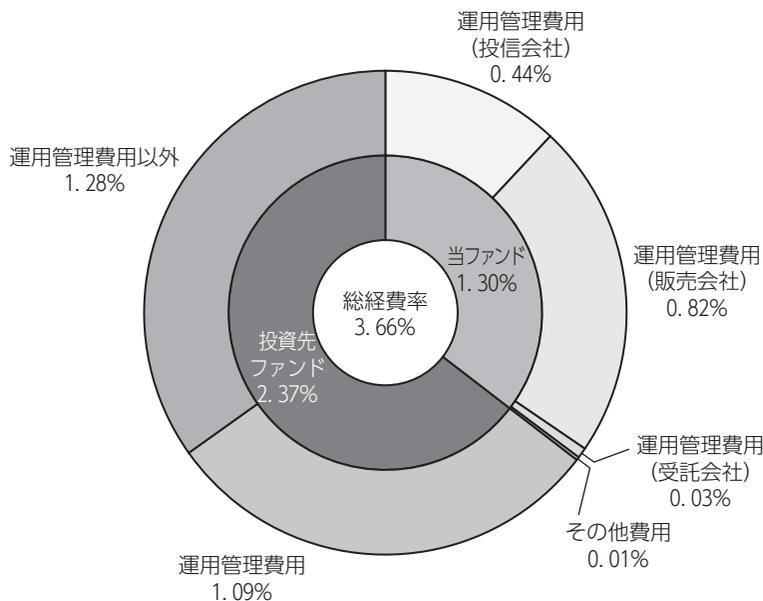
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.66%です。



総経費率 (① + ② + ③)	3.66%
①当ファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.09%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.28%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2023年10月21日から2024年4月22日まで)

決 算 期		第 107 期 ~ 第 112 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	127.58128	8,391	3,774.29346	245,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年10月21日から2024年4月22日まで)

決 算 期	第 107 期 ~ 第 112 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	—	—	7	8

(注) 単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第106期末	第 112 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 112 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS	18,079.66375	1,310,034	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年4月22日現在

項 目	第 112 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,310,034	98.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	26,200	2.0
投資信託財産総額	1,336,236	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年11月20日)、(2023年12月20日)、(2024年1月22日)、(2024年2月20日)、(2024年3月21日)、(2024年4月22日)現在

項目	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末
(A) 資産	1,408,167,619円	1,302,115,007円	1,261,191,506円	1,332,102,596円	1,393,816,351円	1,336,236,625円
コール・ローン等	20,795,664	26,067,633	27,209,185	29,497,476	93,283,709	26,200,297
投資信託受益証券（評価額）	1,357,361,981	1,276,037,400	1,233,972,347	1,302,595,146	1,300,522,669	1,310,034,355
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	9,974	9,974	9,974	9,974	1,973	1,973
未収入金	30,000,000	—	—	—	8,000	—
(B) 負債	20,851,787	4,843,987	4,817,071	4,507,109	67,983,787	10,933,506
未払金	15,000,000	—	—	—	—	—
未払収益分配金	2,322,657	2,246,959	2,150,213	2,135,428	2,017,170	1,983,161
未払解約金	2,003,972	1,146,560	1,151,671	1,018,066	64,500,491	7,392,599
未払信託報酬	1,515,499	1,431,688	1,486,929	1,316,963	1,420,419	1,502,468
その他未払費用	9,659	18,780	28,258	36,652	45,707	55,278
(C) 純資産総額（A－B）	1,387,315,832	1,297,271,020	1,256,374,435	1,327,595,487	1,325,832,564	1,325,303,119
元本	2,322,657,882	2,246,959,339	2,150,213,213	2,135,428,768	2,017,170,857	1,983,161,591
次期繰越損益金	△ 935,342,050	△ 949,688,319	△ 893,838,778	△ 807,833,281	△ 691,338,293	△ 657,858,472
(D) 受益権総口数	2,322,657,882口	2,246,959,339口	2,150,213,213口	2,135,428,768口	2,017,170,857口	1,983,161,591口
1万口当り基準価額（C/D）	5,973円	5,773円	5,843円	6,217円	6,573円	6,683円

* 当作成期首における元本額は2,366,695,556円、当作成期間（第107期～第112期）中における追加設定元本額は6,624,143円、同解約元本額は390,158,108円です。

* 第112期末の計算口数当りの純資産額は6,683円です。

* 第112期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は657,858,472円です。

■損益の状況

第107期 自 2023年10月21日 至 2023年11月20日 第109期 自 2023年12月21日 至 2024年1月22日 第111期 自 2024年2月21日 至 2024年3月21日
 第108期 自 2023年11月21日 至 2023年12月20日 第110期 自 2024年1月23日 至 2024年2月20日 第112期 自 2024年3月22日 至 2024年4月22日

項目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(A) 配当等収益	1,497,146円	1,470,342円	1,400,997円	1,372,226円	1,315,831円	1,264,654円
受取配当金	1,497,371	1,470,532	1,401,263	1,372,315	1,315,908	1,262,778
受取利息	1	—	—	—	—	1,876
支払利息	△ 226	△ 190	△ 266	△ 89	△ 77	—
(B) 有価証券売買損益	△ 1,483,198	△ 42,607,430	17,203,670	81,947,489	73,889,926	24,054,294
売買益	670,361	1,223,492	17,786,119	82,248,775	75,518,564	24,246,877
売買損	△ 2,153,559	△ 43,830,922	△ 582,449	△ 301,286	△ 1,628,638	△ 192,583
(C) 信託報酬等	△ 1,525,158	△ 1,440,809	△ 1,496,407	△ 1,325,357	△ 1,429,474	△ 1,512,039
(D) 当期損益金（A+B+C）	△ 1,511,210	△ 42,577,897	17,108,260	81,994,358	73,776,283	23,806,909
(E) 前期繰越損益金	△ 401,152,830	△ 391,598,729	△ 417,204,057	△ 398,460,649	△ 300,098,655	△ 223,679,737
(F) 追加信託差損益金	△ 530,355,353	△ 513,264,734	△ 491,592,768	△ 489,231,562	△ 462,998,751	△ 456,002,483
(配当等相当額)	(70,234,224)	(67,946,327)	(64,801,409)	(63,499,878)	(59,241,934)	(57,529,035)
(売買損益相当額)	(△ 600,589,577)	(△ 581,211,061)	(△ 556,394,177)	(△ 552,731,440)	(△ 522,240,685)	(△ 513,531,518)
(G) 合計（D+E+F）	△ 933,019,393	△ 947,441,360	△ 891,688,565	△ 805,697,853	△ 689,321,123	△ 655,875,311
(H) 収益分配金	△ 2,322,657	△ 2,246,959	△ 2,150,213	△ 2,135,428	△ 2,017,170	△ 1,983,161
次期繰越損益金（G+H）	△ 935,342,050	△ 949,688,319	△ 893,838,778	△ 807,833,281	△ 691,338,293	△ 657,858,472
追加信託差損益金	△ 530,355,353	△ 513,493,989	△ 492,454,663	△ 490,016,632	△ 463,725,106	△ 456,796,441
(配当等相当額)	(70,234,224)	(67,717,072)	(63,939,514)	(62,714,808)	(58,515,579)	(56,735,077)
(売買損益相当額)	(△ 600,589,577)	(△ 581,211,061)	(△ 556,394,177)	(△ 552,731,440)	(△ 522,240,685)	(△ 513,531,518)
分配準備積立金	2,056,141	—	—	—	—	—
繰越損益金	△ 407,042,838	△ 436,194,330	△ 401,384,115	△ 317,816,649	△ 227,613,187	△ 201,062,031

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	29,533円	1,288,318円	1,350,358円	1,290,815円	1,189,203円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	70,234,224	67,946,327	64,801,409	63,499,878	59,241,934	57,529,035
(d) 分配準備積立金	4,378,798	1,988,171	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	74,613,022	69,964,031	66,089,727	64,850,236	60,532,749	58,718,238
(f) 分配金	2,322,657	2,246,959	2,150,213	2,135,428	2,017,170	1,983,161
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	72,290,365	67,717,072	63,939,514	62,714,808	58,515,579	56,735,077
(h) 受益権総口数	2,322,657,882□	2,246,959,339□	2,150,213,213□	2,135,428,768□	2,017,170,857□	1,983,161,591□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
		10円	10円	10円	10円	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

日本円コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
83期末(2021年11月22日)	3,020	10	△ 6.5	6,482	△ 7.8	—	98.2	261
84期末(2021年12月20日)	2,863	10	△ 4.9	6,143	△ 5.2	—	98.2	248
85期末(2022年1月20日)	3,153	10	10.5	7,071	15.1	—	99.0	264
86期末(2022年2月21日)	3,214	10	2.3	7,271	2.8	—	98.2	266
87期末(2022年3月22日)	3,322	10	3.7	7,416	2.0	—	97.9	277
88期末(2022年4月20日)	3,633	10	9.7	8,086	9.0	—	97.9	288
89期末(2022年5月20日)	3,410	10	△ 5.9	7,720	△ 4.5	—	98.6	277
90期末(2022年6月20日)	3,042	10	△ 10.5	6,972	△ 9.7	—	97.7	246
91期末(2022年7月20日)	3,249	10	7.1	7,509	7.7	—	98.2	263
92期末(2022年8月22日)	3,568	10	10.1	8,338	11.0	—	98.1	269
93期末(2022年9月20日)	3,470	10	△ 2.5	8,292	△ 0.6	—	96.8	266
94期末(2022年10月20日)	3,390	10	△ 2.0	8,275	△ 0.2	—	97.1	260
95期末(2022年11月21日)	3,539	10	4.7	8,691	5.0	—	98.4	265
96期末(2022年12月20日)	3,297	10	△ 6.6	8,184	△ 5.8	—	98.7	247
97期末(2023年1月20日)	3,484	10	6.0	8,807	7.6	—	98.4	259
98期末(2023年2月20日)	3,411	10	△ 1.8	8,998	2.2	—	98.5	244
99期末(2023年3月20日)	3,157	10	△ 7.2	8,442	△ 6.2	—	98.0	218
100期末(2023年4月20日)	3,285	10	4.4	8,865	5.0	—	98.7	227
101期末(2023年5月22日)	3,208	10	△ 2.0	9,133	3.0	—	98.2	215
102期末(2023年6月20日)	3,210	10	0.4	9,250	1.3	—	99.0	215
103期末(2023年7月20日)	3,323	10	3.8	9,545	3.2	—	98.4	221
104期末(2023年8月21日)	3,362	10	1.5	9,763	2.3	—	97.9	223
105期末(2023年9月20日)	3,392	10	1.2	10,091	3.4	—	98.6	225
106期末(2023年10月20日)	3,417	10	1.0	10,372	2.8	—	98.0	226
107期末(2023年11月20日)	3,394	10	△ 0.4	10,608	2.3	—	98.0	220
108期末(2023年12月20日)	3,393	10	0.3	10,672	0.6	—	98.0	204
109期末(2024年1月22日)	3,314	10	△ 2.0	10,640	△ 0.3	—	99.0	151
110期末(2024年2月20日)	3,455	10	4.6	11,431	7.4	—	98.4	150
111期末(2024年3月21日)	3,623	10	5.2	12,101	5.9	0.0	98.4	156
112期末(2024年4月22日)	3,568	10	△ 1.2	11,987	△ 0.9	0.0	98.8	147

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(配当込み、米ドルベース)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

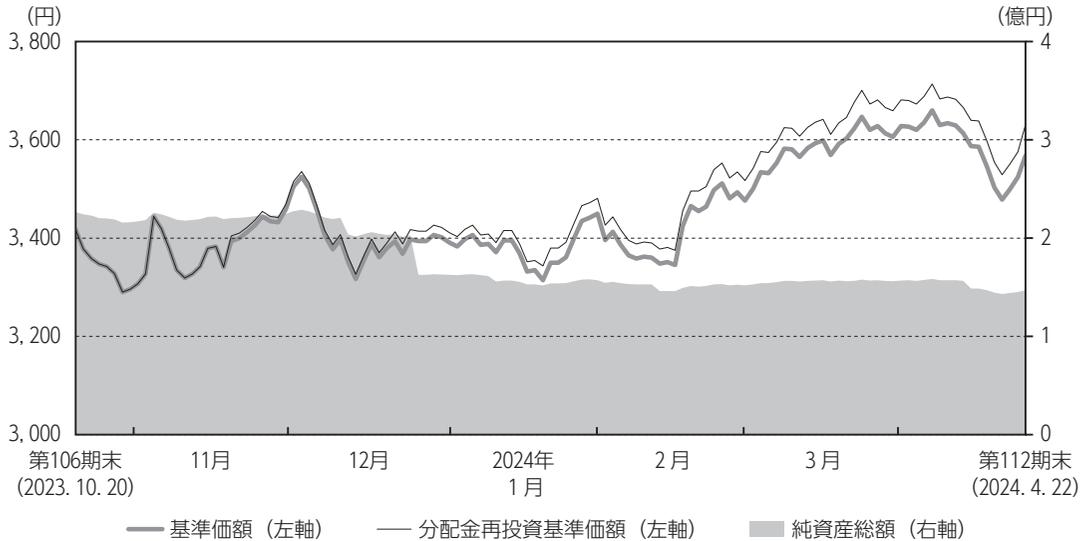
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第107期首：3,417円

第112期末：3,568円（既払分配金60円）

騰落率：6.2%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

MLP（※）市況が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (配当込み、米ドルベース) (参考指数)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第107期	(期首)2023年10月20日	3,417	—	10,372	—	—	98.0
	10月末	3,296	△ 3.5	10,136	△ 2.3	—	99.0
	(期末)2023年11月20日	3,404	△ 0.4	10,608	2.3	—	98.0
第108期	(期首)2023年11月20日	3,394	—	10,608	—	—	98.0
	11月末	3,459	1.9	10,741	1.3	—	98.1
	(期末)2023年12月20日	3,403	0.3	10,672	0.6	—	98.0
第109期	(期首)2023年12月20日	3,393	—	10,672	—	—	98.0
	12月末	3,391	△ 0.1	10,675	0.0	—	98.1
	(期末)2024年1月22日	3,324	△ 2.0	10,640	△ 0.3	—	99.0
第110期	(期首)2024年1月22日	3,314	—	10,640	—	—	99.0
	1月末	3,450	4.1	11,275	6.0	—	98.1
	(期末)2024年2月20日	3,465	4.6	11,431	7.4	—	98.4
第111期	(期首)2024年2月20日	3,455	—	11,431	—	—	98.4
	2月末	3,476	0.6	11,553	1.1	—	98.3
	(期末)2024年3月21日	3,633	5.2	12,101	5.9	0.0	98.4
第112期	(期首)2024年3月21日	3,623	—	12,101	—	0.0	98.4
	3月末	3,628	0.1	12,146	0.4	0.0	98.3
	(期末)2024年4月22日	3,578	△ 1.2	11,987	△ 0.9	0.0	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 10. 21 ~ 2024. 4. 22)

■MLP市況

MLP市況は上昇しました。

MLP市場は、当作成期首より、パレスチナ情勢の不安定化を受けて投資家心理が悪化した一方、米国のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、FRB（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、底堅い展開が続きました。2024年1月以降は、インフレ率の鈍化傾向が継続したことや製造業の景況感が改善したこと、堅調な原油価格などが好感され、大きく上昇して当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中事業を中心に行う株式（以下、川中関連株式）を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 10. 21 ~ 2024. 4. 22)

■当ファンド

当ファンドは、「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当完成期は「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせたポートフォリオでの運用を継続しました。

株式部分の運用においては、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、銘柄の選定を行いました。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

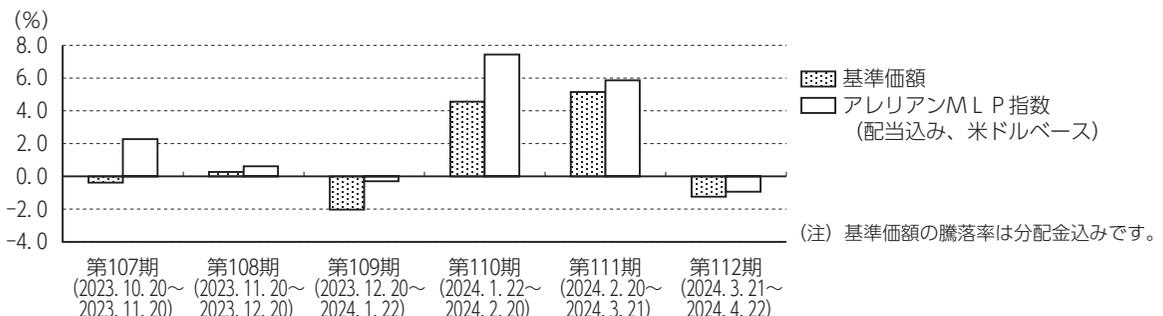
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2023年10月21日 ～2023年11月20日	2023年11月21日 ～2023年12月20日	2023年12月21日 ～2024年1月22日	2024年1月23日 ～2024年2月20日	2024年2月21日 ～2024年3月21日	2024年3月22日 ～2024年4月22日
当期分配金(税込み) (円)	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率 (%)	0.29	0.29	0.30	0.29	0.28	0.28
当期の収益 (円)	2	4	2	6	6	2
当期の収益以外 (円)	7	5	7	3	3	7
翌期繰越分配対象額 (円)	369	363	356	352	348	341

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 2.84円	✓ 4.62円	✓ 2.32円	✓ 6.34円	✓ 6.33円	✓ 2.31円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 376.39	✓ 369.23	✓ 363.85	✓ 356.17	✓ 352.52	✓ 348.85
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	379.23	373.86	366.17	362.52	358.85	351.17
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	369.23	363.86	356.17	352.52	348.85	341.17

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第107期～第112期 (2023. 10. 21～2024. 4. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0.650%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,447円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0.222)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.416)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	23	0.654	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

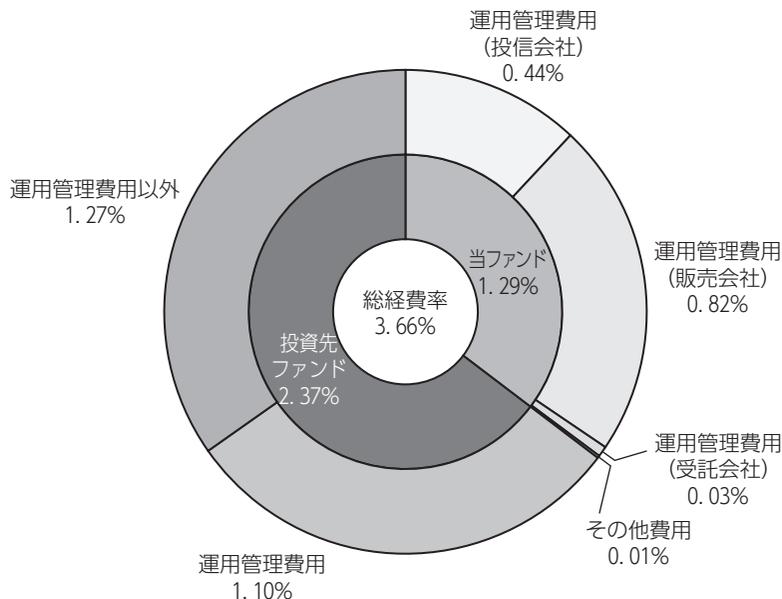
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.66%です。



総経費率 (① + ② + ③)	3.66%
①当ファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.10%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.27%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2023年10月21日から2024年4月22日まで)

決 算 期		第 107 期 ~ 第 112 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	54.65042	2,010	2,395.12366	86,870

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年10月21日から2024年4月22日まで)

決 算 期	第 107 期 ~ 第 112 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	—	—	5	6

(注) 単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第106期末	第 112 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	6	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 112 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS	3,793.47774	145,263	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年4月22日現在

項 目	第 112 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	145,263	98.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	2,359	1.6
投資信託財産総額	147,624	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年11月20日)、(2023年12月20日)、(2024年1月22日)、(2024年2月20日)、(2024年3月21日)、(2024年4月22日)現在

項目	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末
(A) 資産	226,477,477円	209,715,325円	153,739,776円	151,347,429円	160,984,575円	147,624,266円
コール・ローン等	4,668,345	4,316,223	3,319,879	3,030,970	2,595,599	2,359,549
投資信託受益証券（評価額）	215,942,057	200,092,028	150,412,822	148,309,384	154,041,902	145,263,643
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	7,075	7,075	7,075	7,075	1,074	1,074
未収入金	5,860,000	5,299,999	—	—	4,346,000	—
(B) 負債	6,161,466	5,627,075	1,794,773	604,942	4,396,693	597,095
未払金	2,930,000	2,650,000	—	—	2,170,000	—
未払収益分配金	649,111	601,518	458,545	436,279	432,235	412,027
未払解約金	2,339,709	2,141,575	1,138,190	6,770	1,624,604	4,046
未払信託報酬	241,119	230,995	193,831	156,700	163,628	173,704
その他未払費用	1,527	2,987	4,207	5,193	6,226	7,318
(C) 純資産総額（A－B）	220,316,011	204,088,250	151,945,003	150,742,487	156,587,882	147,027,171
元本	649,111,619	601,518,641	458,545,301	436,279,057	432,235,508	412,027,052
次期繰越損益金	△ 428,795,608	△ 397,430,391	△ 306,600,298	△ 285,536,570	△ 275,647,626	△ 264,999,881
(D) 受益権総口数	649,111,619口	601,518,641口	458,545,301口	436,279,057口	432,235,508口	412,027,052口
1万口当り基準価額（C/D）	3,394円	3,393円	3,314円	3,455円	3,623円	3,568円

* 当作成期首における元本額は662,640,558円、当作成期間（第107期～第112期）中における追加設定元本額は5,012,410円、同解約元本額は255,625,916円です。

* 第112期末の計算口数当りの純資産額は3,568円です。

* 第112期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は264,999,881円です。

■損益の状況

第107期 自 2023年10月21日 至 2023年11月20日 第109期 自 2023年12月21日 至 2024年1月22日 第111期 自 2024年2月21日 至 2024年3月21日

第108期 自 2023年11月21日 至 2023年12月20日 第110期 自 2024年1月23日 至 2024年2月20日 第112期 自 2024年3月22日 至 2024年4月22日

項目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(A) 配当等収益	427,104円	401,734円	301,669円	283,595円	279,600円	270,275円
受取配当金	427,123	401,763	301,694	283,596	279,600	270,088
受取利息	—	—	—	—	—	187
支払利息	△ 19	△ 29	△ 25	△ 1	—	—
(B) 有価証券売買損益	△ 1,029,939	354,815	△ 3,292,908	6,483,628	7,559,074	△ 1,922,366
売買益	105,280	393,216	49,679	6,606,568	7,620,858	42,434
売買損	△ 1,135,219	△ 38,401	△ 3,342,587	△ 122,940	△ 61,784	△ 1,964,800
(C) 信託報酬等	△ 242,646	△ 232,455	△ 195,051	△ 157,686	△ 164,661	△ 174,796
(D) 当期損益金（A + B + C）	△ 845,481	524,094	△ 3,186,290	6,609,537	7,674,013	△ 1,826,887
(E) 前期繰越損益金	△ 198,129,512	△ 184,232,072	△ 140,008,585	△ 136,152,837	△ 128,457,179	△ 115,246,320
(F) 追加信託差損益金	△ 229,171,504	△ 213,120,895	△ 162,946,878	△ 155,556,991	△ 154,432,225	△ 147,514,647
(配当等相当額)	(24,432,423)	(22,210,310)	(16,684,220)	(15,539,226)	(15,237,409)	(14,373,947)
(売買損益相当額)	(△ 253,603,927)	(△ 235,331,205)	(△ 179,631,098)	(△ 171,096,217)	(△ 169,669,634)	(△ 161,888,594)
(G) 合計（D + E + F）	△ 428,146,497	△ 396,828,873	△ 306,141,753	△ 285,100,291	△ 275,215,391	△ 264,587,854
(H) 収益分配金	△ 649,111	△ 601,518	△ 458,545	△ 436,279	△ 432,235	△ 412,027
次期繰越損益金（G + H）	△ 428,795,608	△ 397,430,391	△ 306,600,298	△ 285,536,570	△ 275,647,626	△ 264,999,881
追加信託差損益金	△ 229,636,157	△ 213,444,113	△ 163,298,805	△ 155,716,282	△ 154,590,738	△ 147,831,195
(配当等相当額)	(23,967,770)	(21,887,092)	(16,332,293)	(15,379,935)	(15,078,896)	(14,057,399)
(売買損益相当額)	(△ 253,603,927)	(△ 235,331,205)	(△ 179,631,098)	(△ 171,096,217)	(△ 169,669,634)	(△ 161,888,594)
繰越損益金	△ 199,159,451	△ 183,986,278	△ 143,301,493	△ 129,820,288	△ 121,056,888	△ 117,168,686

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(a) 経費控除後の配当等収益	184,458円	278,300円	106,618円	276,988円	273,722円	95,479円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	24,432,423	22,210,310	16,684,220	15,539,226	15,237,409	14,373,947
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	24,616,881	22,488,610	16,790,838	15,816,214	15,511,131	14,469,426
(f) 分配金	649,111	601,518	458,545	436,279	432,235	412,027
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	23,967,770	21,887,092	16,332,293	15,379,935	15,078,896	14,057,399
(h) 受益権総口数	649,111,619口	601,518,641口	458,545,301口	436,279,057口	432,235,508口	412,027,052口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	10円	10円	10円	10円	10円	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

<ul style="list-style-type: none"> ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率			
	円	円	%	%	%	百万円
83期末(2021年11月22日)	2,043	10	△ 6.7	—	98.7	599
84期末(2021年12月20日)	1,935	10	△ 4.8	—	97.9	553
85期末(2022年1月20日)	2,139	10	11.1	—	98.9	596
86期末(2022年2月21日)	2,192	10	2.9	—	98.6	607
87期末(2022年3月22日)	2,314	10	6.0	—	98.8	635
88期末(2022年4月20日)	2,648	10	14.9	—	98.8	732
89期末(2022年5月20日)	2,452	10	△ 7.0	—	98.7	671
90期末(2022年6月20日)	2,284	10	△ 6.4	—	97.6	606
91期末(2022年7月20日)	2,478	10	8.9	—	98.3	657
92期末(2022年8月22日)	2,724	10	10.3	—	98.2	698
93期末(2022年9月20日)	2,716	10	0.1	—	98.3	691
94期末(2022年10月20日)	2,744	10	1.4	—	98.9	687
95期末(2022年11月21日)	2,723	10	△ 0.4	—	98.0	666
96期末(2022年12月20日)	2,502	10	△ 7.7	—	96.8	605
97期末(2023年1月20日)	2,509	10	0.7	—	97.4	606
98期末(2023年2月20日)	2,540	10	1.6	—	98.3	612
99期末(2023年3月20日)	2,312	10	△ 8.6	—	98.0	554
100期末(2023年4月20日)	2,464	10	7.0	—	98.0	586
101期末(2023年5月22日)	2,457	10	0.1	—	98.6	576
102期末(2023年6月20日)	2,500	10	2.2	—	98.3	583
103期末(2023年7月20日)	2,577	10	3.5	—	98.0	600
104期末(2023年8月21日)	2,681	10	4.4	—	98.4	615
105期末(2023年9月20日)	2,740	10	2.6	—	98.5	624
106期末(2023年10月20日)	2,795	10	2.4	—	98.8	628
107期末(2023年11月20日)	2,785	10	0.0	—	98.2	624
108期末(2023年12月20日)	2,711	10	△ 2.3	—	99.0	597
109期末(2024年1月22日)	2,722	10	0.8	—	98.8	597
110期末(2024年2月20日)	2,880	10	6.2	—	98.6	625
111期末(2024年3月21日)	3,037	10	5.8	0.0	97.0	641
112期末(2024年4月22日)	3,047	10	0.7	0.0	98.8	634

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

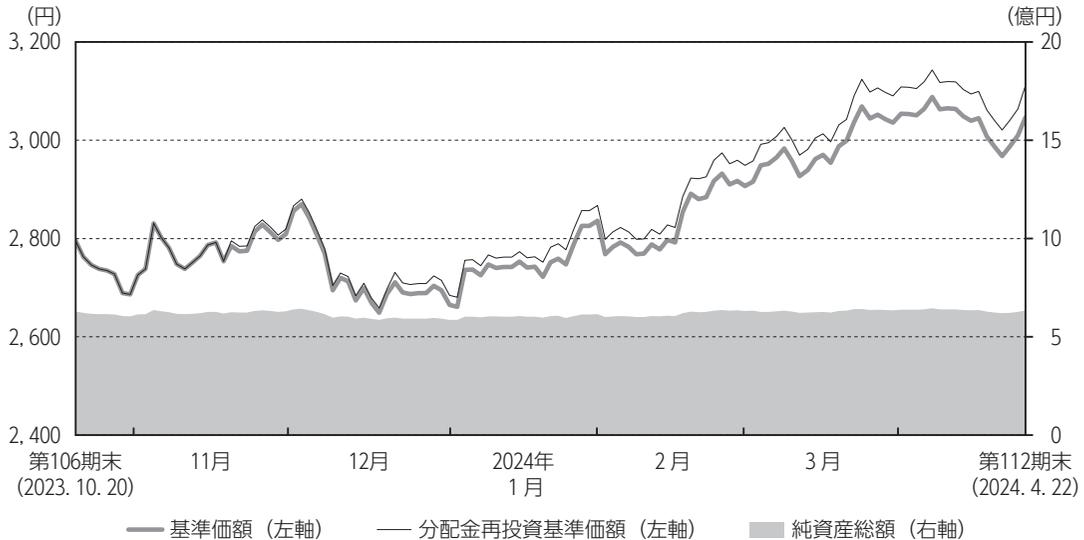
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第107期首：2,795円

第112期末：3,047円（既払分配金60円）

騰落率：11.3%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

MLP（※）市況が上昇したことに加え、米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となりました。また、オプション部分については、円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却している中、米ドル円の上昇の影響がプレミアム収入を上回り、マイナス要因となりました。こうした市場の動きの中、当作成期の基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行われている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 通貨αコース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %		
第107期	(期首) 2023年10月20日	2,795	—	—	98.8
	10月末	2,686	△ 3.9	—	98.7
	(期末) 2023年11月20日	2,795	0.0	—	98.2
第108期	(期首) 2023年11月20日	2,785	—	—	98.2
	11月末	2,809	0.9	—	98.2
	(期末) 2023年12月20日	2,721	△ 2.3	—	99.0
第109期	(期首) 2023年12月20日	2,711	—	—	99.0
	12月末	2,665	△ 1.7	—	98.1
	(期末) 2024年1月22日	2,732	0.8	—	98.8
第110期	(期首) 2024年1月22日	2,722	—	—	98.8
	1月末	2,836	4.2	—	98.2
	(期末) 2024年2月20日	2,890	6.2	—	98.6
第111期	(期首) 2024年2月20日	2,880	—	—	98.6
	2月末	2,907	0.9	—	98.5
	(期末) 2024年3月21日	3,047	5.8	0.0	97.0
第112期	(期首) 2024年3月21日	3,037	—	0.0	97.0
	3月末	3,054	0.6	0.0	98.0
	(期末) 2024年4月22日	3,057	0.7	0.0	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2023. 10. 21 ~ 2024. 4. 22）

■MLP市況

MLP市況は上昇しました。

MLP市場は、当作成期首より、パレスチナ情勢の不安定化を受けて投資家心理が悪化した一方、米国のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、FRB（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、底堅い展開が続きました。2024年1月以降は、インフレ率の鈍化傾向が継続したことや製造業の景況感が改善したこと、堅調な原油価格などが好感され、大きく上昇して当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル円為替相場は上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を受けて、2023年末にかけて下落（円高）しました。しかし2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じ、2月に入っても、日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどから、円安米ドル高基調となりました。当作成期末にかけても、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調が継続しました。

■通貨オプション相場

通貨オプションのボラティリティは上昇しました。

当作成期首から2023年12月にかけては、日銀の政策修正観測などを受けて米ドル円が大きく下落する中で、為替相場の先行き不透明感が高まり、ボラティリティは上昇しました。その後、ボラティリティはいったん低下しましたが、当作成期末にかけては、米ドル円が歴史的な水準にまで上昇し為替相場の先行き不透明感が高まる中で、ボラティリティは上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）：CBREクラリオン・トラストーダイワ/クラリオン・アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中事業を中心に行う株式（以下、川中関連株式）を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 10. 21 ~ 2024. 4. 22)

■当ファンド

当ファンドは、「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせたポートフォリオでの運用を継続しました。

株式部分の運用においては、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、銘柄の選定を行いました。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざしました。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2023年10月21日 ～2023年11月20日	2023年11月21日 ～2023年12月20日	2023年12月21日 ～2024年1月22日	2024年1月23日 ～2024年2月20日	2024年2月21日 ～2024年3月21日	2024年3月22日 ～2024年4月22日
当期分配金(税込み) (円)	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率 (%)	0.36	0.37	0.37	0.35	0.33	0.33
当期の収益 (円)	2	2	5	5	5	4
当期の収益以外 (円)	7	7	4	4	4	5
翌期繰越分配対象額 (円)	420	413	408	404	400	395

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 2.93円	✓ 2.98円	✓ 5.14円	✓ 5.77円	✓ 5.75円	✓ 4.99円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 427.45	✓ 420.38	✓ 413.37	✓ 408.51	✓ 404.29	✓ 400.05
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	430.38	423.37	418.51	414.29	410.05	405.04
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	420.38	413.37	408.51	404.29	400.05	395.04

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

ファンドの満期償還に向けて、MLP市場に投資するETF（上場投資信託）および川中関連株式を組み合わせ、バランスの取れたポートフォリオで運用を継続する方針です。川中関連株式については、規模と安定性に優れ、世界のエネルギー需要の拡大から恩恵を受ける大型の銘柄を中心に、銘柄を厳選してまいります。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第107期～第112期 (2023. 10. 21～2024. 4. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	18円	0.651%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,836円です。
(投 信 会 社)	(6)	(0.221)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0.416)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	0	0.010	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(0)	(0.010)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	19	0.663	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

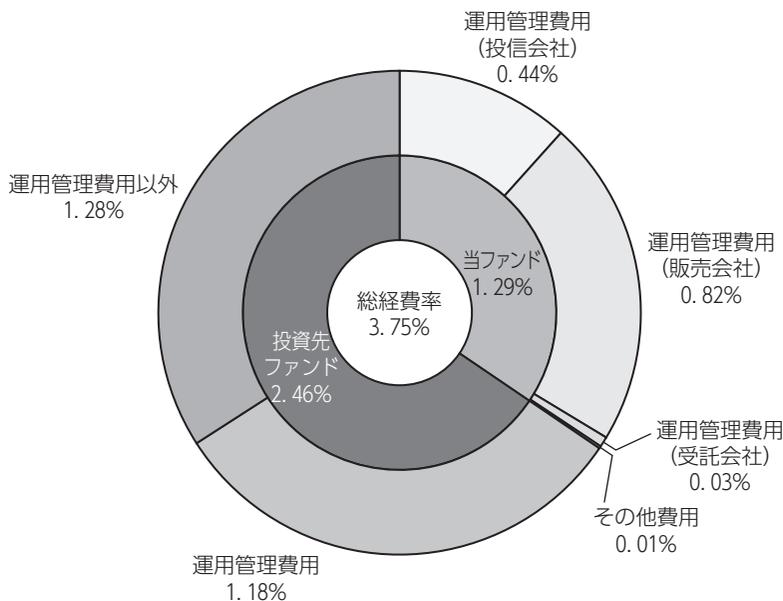
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含まず。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.75%です。



総経費率 (① + ② + ③)	3.75%
①当ファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.18%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.28%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、MLP投資に関連して還付が見込まれる税金および還付された税金を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2023年10月21日から2024年4月22日まで)

決 算 期		第 107 期 ~ 第 112 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	231.79448	7,703	1,934.60922	64,315

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年10月21日から2024年4月22日まで)

決 算 期	第 107 期 ~ 第 112 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	—	—	7	8

(注) 単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第106期末	第 112 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	9	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 112 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS	17,453.40112	627,048	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年4月22日現在

項 目	第 112 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	627,048	98.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	11,777	1.8
投資信託財産総額	638,827	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 通貨αコース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年11月20日)、(2023年12月20日)、(2024年1月22日)、(2024年2月20日)、(2024年3月21日)、(2024年4月22日)現在

項目	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末
(A) 資産	628,204,605円	602,844,161円	601,357,793円	628,155,896円	651,345,037円	638,827,098円
コール・ローン等	15,078,792	11,584,186	10,752,245	11,575,925	15,093,514	11,777,127
投資信託受益証券（評価額）	613,116,183	591,250,345	590,595,918	616,570,341	622,155,994	627,048,342
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	9,630	9,630	9,630	9,630	1,629	1,629
未収入金	—	—	—	—	14,093,900	—
(B) 負債	3,752,345	5,518,360	3,713,854	3,091,163	10,164,772	4,339,646
未払金	—	—	—	—	7,042,950	—
未払収益分配金	2,242,378	2,203,697	2,195,474	2,169,994	2,111,305	2,082,273
未払解約金	828,462	2,653,208	809,923	282,250	322,417	1,511,419
未払信託報酬	677,197	652,992	695,574	622,080	667,021	720,295
その他未払費用	4,308	8,463	12,883	16,839	21,079	25,659
(C) 純資産総額（A－B）	624,452,260	597,325,801	597,643,939	625,064,733	641,180,265	634,487,452
元本	2,242,378,673	2,203,697,770	2,195,474,556	2,169,994,279	2,111,305,478	2,082,273,431
次期繰越損益金	△ 1,617,926,413	△ 1,606,371,969	△ 1,597,830,617	△ 1,544,929,546	△ 1,470,125,213	△ 1,447,785,979
(D) 受益権総口数	2,242,378,673口	2,203,697,770口	2,195,474,556口	2,169,994,279口	2,111,305,478口	2,082,273,431口
1万口当り基準価額（C/D）	2,785円	2,711円	2,722円	2,880円	3,037円	3,047円

* 当作成期首における元本額は2,248,587,663円、当作成期間（第107期～第112期）中における追加設定元本額は18,452,097円、同解約元本額は184,766,329円です。

* 第112期末の計算口数当りの純資産額は3,047円です。

* 第112期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,447,785,979円です。

■損益の状況

第107期 自 2023年10月21日 至 2023年11月20日 第109期 自 2023年12月21日 至 2024年1月22日 第111期 自 2024年2月21日 至 2024年3月21日

第108期 自 2023年11月21日 至 2023年12月20日 第110期 自 2024年1月23日 至 2024年2月20日 第112期 自 2024年3月22日 至 2024年4月22日

項目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(A) 配当等収益	1,339,862円	1,315,278円	1,295,310円	1,275,384円	1,239,287円	1,218,282円
受取配当金	1,339,926	1,315,373	1,295,452	1,275,417	1,239,319	1,217,433
受取利息	—	—	—	—	—	849
支払利息	△ 64	△ 95	△ 142	△ 33	△ 32	—
(B) 有価証券売買損益	△ 659,937	△ 14,809,065	4,147,105	35,876,753	34,563,304	3,712,743
売買益	41,977	208,301	4,213,443	35,987,358	34,801,583	3,709,247
売買損	△ 701,914	△ 15,017,366	△ 66,338	△ 110,605	△ 238,279	3,496
(C) 信託報酬等	△ 681,505	△ 657,147	△ 699,994	△ 626,036	△ 671,261	△ 724,875
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 1,580	△ 14,150,934	4,742,421	36,526,101	35,131,330	4,206,150
(E) 前期繰越損益金	△ 929,885,646	△ 913,146,674	△ 923,138,629	△ 907,534,951	△ 847,454,230	△ 801,453,372
(F) 追加信託差損益金	△ 685,796,809	△ 676,870,664	△ 677,238,935	△ 671,750,702	△ 655,691,008	△ 648,456,484
(配当等相当額)	(95,851,054)	(92,640,955)	(90,755,471)	(88,647,818)	(85,359,001)	(83,302,356)
(売買損益相当額)	(△ 781,647,863)	(△ 769,511,619)	(△ 767,994,406)	(△ 760,398,520)	(△ 741,050,009)	(△ 731,758,840)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 1,615,684,035	△ 1,604,168,272	△ 1,595,635,143	△ 1,542,759,552	△ 1,468,013,908	△ 1,445,703,706
(H) 収益分配金	△ 2,242,378	△ 2,203,697	△ 2,195,474	△ 2,169,994	△ 2,111,305	△ 2,082,273
次期繰越損益金（G＋H）	△ 1,617,926,413	△ 1,606,371,969	△ 1,597,830,617	△ 1,544,929,546	△ 1,470,125,213	△ 1,447,785,979
追加信託差損益金	△ 687,380,830	△ 678,416,230	△ 678,305,698	△ 672,666,785	△ 656,586,252	△ 649,499,592
(配当等相当額)	(94,267,033)	(91,095,389)	(89,688,708)	(87,731,735)	(84,463,757)	(82,259,248)
(売買損益相当額)	(△ 781,647,863)	(△ 769,511,619)	(△ 767,994,406)	(△ 760,398,520)	(△ 741,050,009)	(△ 731,758,840)
繰越損益金	△ 930,545,583	△ 927,955,739	△ 919,524,919	△ 872,262,761	△ 813,538,961	△ 798,286,387

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(a) 経費控除後の配当等収益	658,357円	658,131円	1,128,711円	1,253,911円	1,216,061円	1,039,165円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	95,851,054	92,640,955	90,755,471	88,647,818	85,359,001	83,302,356
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	96,509,411	93,299,086	91,884,182	89,901,729	86,575,062	84,341,521
(f) 分配金	2,242,378	2,203,697	2,195,474	2,169,994	2,111,305	2,082,273
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	94,267,033	91,095,389	89,688,708	87,731,735	84,463,757	82,259,248
(h) 受益権総口数	2,242,378,673口	2,203,697,770口	2,195,474,556口	2,169,994,279口	2,111,305,478口	2,082,273,431口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
		10円	10円	10円	10円	10円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

アメリカンMLPファンド
（ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス）

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨αコース）はケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス）」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能なFinancial Statements等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

（米ドル建て）

貸借対照表
2023年3月31日

資産	
投資資産の評価額（簿価 \$13,377,303）	\$ 16,166,930
現金および現金同等物	232,603
外国為替先渡取引による評価益	29,698
未収配当金	8,639
未収法人税等	184,977
その他資産	18,394
資産合計	16,641,241
負債	
売建てオプションの評価額（受取済プレミアム \$33,297）	9,216
外国為替先渡取引による評価損	50,951
未払：	
専門家報酬	131,003
会計および管理会社報酬	9,996
運用会社報酬	4,284
保管会社報酬	3,282
名義書換代理人報酬	1,200
為替運用会社報酬	394
未払当期所得税	941,071
負債合計	1,151,397
純資産	\$ 15,489,844
純資産の内訳：	
払込資本金	\$ 256,877,771
（受益者への分配金）	(110,279,552)
繰越損失	(131,108,375)
純資産	\$ 15,489,844
クラス別純資産：	
通貨αクラス	\$ 4,268,804
円ヘッジクラス	1,666,984
ノンヘッジクラス	9,554,056
	\$ 15,489,844
発行済み受益証券	
通貨αクラス	20,723,835
円ヘッジクラス	6,517,905
ノンヘッジクラス	24,605,886

受益証券1口当り純資産額

通貨αクラス	\$	0.206
円ヘッジクラス	\$	0.256
ノンヘッジクラス	\$	0.388

損益計算書

2023年3月31日で終了した年度

投資収益

配当収益（源泉徴収税 \$118,738 控除後）	\$	295,139
マスター・リミテッド・パートナーシップからの分配金 （元本払戻金（特別分配金））		609,161 (609,161)
受取利息		15,493
投資収益合計		310,632

費用

専門家報酬		220,419
運用会社報酬		86,706
会計および管理会社報酬		60,000
受託会社報酬		16,529
保管会社報酬		16,018
名義書換代理人報酬		7,200
登録料		6,138
為替運用会社報酬		4,750
州法人税		1,175
計算代理人報酬		572
費用合計		419,507

税引前投資損失

		(108,875)
当期所得税および法人税等調整額		(246,481)
税引後投資純損失		(355,356)

実現損益および評価損益：

実現損益：

証券投資		5,592,311
外国為替取引および外国為替先渡取引		(281,762)
売建オプション		(297,998)
純実現利益		5,012,551

評価損益の純変動の内訳：

証券投資		(4,832,251)
外国為替換算および外国為替先渡取引		16,817
売建オプション		807
評価損益の純変動		(4,814,627)

純実現損益および評価損益の純変動

		197,924
運用による純資産の純減	\$	(157,432)

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）

投資明細表
2023年3月31日現在

株数 / 口数	証券の明細	評価額
	普通株 (52.4%)	
	カナダ (14.6%)	
	エネルギー中流事業 (14.6%)	
38,982	Enbridge, Inc.	\$ 1,487,164
23,923	Pembina Pipeline Corp.	775,105
		<hr/>
	カナダ合計 (簿価 \$2,238,719)	2,262,269
	米国 (37.8%)	
	エネルギー中流事業 (9.3%)	
22,617	ONEOK, Inc.	1,437,084
		<hr/>
	集積・処理 (9.6%)	
20,289	Targa Resources Corp.	1,480,083
		<hr/>
	天然ガス パイプライン・貯蔵 (18.9%)	
9,587	Cheniere Energy, Inc.	1,510,910
47,775	Williams Cos, Inc.	1,426,562
		<hr/>
	米国合計 (簿価 \$3,240,182)	2,937,472
	普通株合計 (簿価 \$5,478,901) (52.4%)	\$ 5,854,639
	ETF (52.0%)	\$ 8,116,908
	米国 (52.0%)	
208,280	Alerian MLP ETF	8,050,022
	米国合計 (簿価 \$7,898,402)	<hr/>
		\$ 8,050,022
	ETF合計 (簿価 \$7,898,402) (52.0%)	\$ 8,050,022
	投資総額 (簿価 \$13,377,303) (104.4%)	\$ 16,166,930
	現金および他の資産を超過する負債 (-4.4%)	\$ (677,086)
	純資産 (100.0%)	<hr/>
		\$ 15,489,844

2023年3月31日現在の円ヘッジクラスの外国為替先渡契約残高 (純資産の-0.1%)

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	評価益/(損)
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	244,980,121	04/10/2023	U S D	1,812,856	\$ 29,426	\$ -	\$ 29,426
J P Y	Brown Brothers Harriman & Co.	214,750,182	04/10/2023	U S D	1,636,202	-	(21,253)	(21,253)
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	16,938	04/10/2023	J P Y	2,287,861	-	(266)	(266)
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	73,647	04/10/2023	J P Y	10,000,000	-	(1,555)	(1,555)
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	56,130	04/10/2023	J P Y	7,505,394	-	(312)	(312)
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	78,757	04/10/2023	J P Y	10,436,685	272	-	272
U S D	Brown Brothers Harriman & Co.	1,587,384	04/10/2023	J P Y	214,750,182	-	(27,565)	(27,565)
						\$ 29,698	\$ (50,951)	\$ (21,253)

2023年3月31日現在の通貨αクラスの売建オプション取引残高 (純資産の-0.1%)

取引内容	取引相手	行使価格	行使期日	契約数	受取済 プレミアム	評価額
Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar	NatWest	¥ 135.16	04/21/2023	2,100,000	\$ (33,297)	\$ (9,216)

通貨の略称:

J P Y	-	日本円
U S D	-	米ドル

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース/日本円コース/通貨αコース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2023年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第112期の決算日（2024年4月22日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

（2023年10月21日から2024年4月22日まで）

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
1219国庫短期証券 2024/6/24	千円 10,999,769		千円

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2024年4月22日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（18,007,517千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区分	2024年4月22日現在						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	11,000,000	10,999,851	60.1	—	—	—	60.1

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

（注3）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2024年4月22日現在					
区分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	1219国庫短期証券	% —	千円 11,000,000	千円 10,999,851	2024/06/24

（注）単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第19期 (決算日 2023年12月11日)

(作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

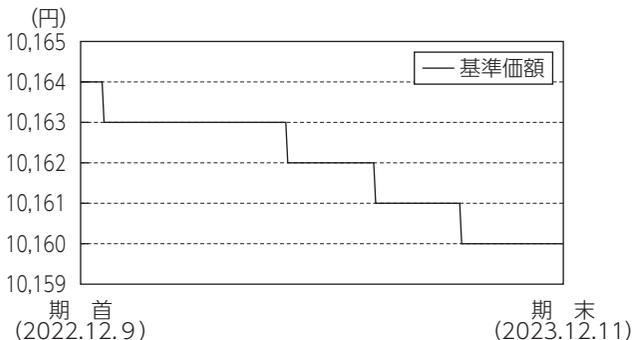
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2022年12月9日	円	%	%
	10,164	-	-
12月末	10,163	△0.0	-
2023年1月末	10,163	△0.0	-
2月末	10,163	△0.0	-
3月末	10,163	△0.0	-
4月末	10,163	△0.0	-
5月末	10,162	△0.0	-
6月末	10,162	△0.0	-
7月末	10,161	△0.0	-
8月末	10,161	△0.0	-
9月末	10,160	△0.0	-
10月末	10,160	△0.0	-
11月末	10,160	△0.0	-
(期末)2023年12月11日	10,160	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,164円 期末：10,160円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	19,535,266	100.0
投資信託財産総額	19,535,266	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	19,535,266,323円
コール・ローン等	19,535,266,323
(B) 負債	29,184,000
未払解約金	29,184,000
(C) 純資産総額(A - B)	19,506,082,323
元本	19,198,713,135
次期繰越損益金	307,369,188
(D) 受益権総口数	19,198,713,135口
1万口当り基準価額(C / D)	10,160円

* 期首における元本額は14,576,480,402円、当作成期間中における追加設定元本額は27,183,021,765円、同解約元本額は22,560,789,032円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	6,471,708,187円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A1新時代- (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A1新時代- (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
世界水資源関連株式ファンド	984円
ダイワ / "R I C I"® コモディティ・ファンド	2,074,249円
堅実バランスファンド - ハジメの一歩-	82,551,045円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	3,668,122,787円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ	3,404,533,061円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	1,690,708,296円
D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ	3,873,348,807円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	132,757円
リターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	52,987円
リターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	467,315円
リターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	12,784円
リターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	
ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	982,368円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	9,652円
リターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,160円です。

■損益の状況

当期 自2022年12月10日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,497,360円
受取利息	7,522
支払利息	△ 6,504,882
(B) 当期損益金(A)	△ 6,497,360
(C) 前期繰越損益金	238,705,846
(D) 解約差損益金	△ 365,355,257
(E) 追加信託差損益金	440,515,959
(F) 合計(B + C + D + E)	307,369,188
次期繰越損益金(F)	307,369,188

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。